

第 10 回多治見市役所新庁舎検討市民委員会 会議録	
日 時	令和 5 年 3 月 17 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 38 分
会 場	多治見市役所駅北庁舎 4 階災害対策本部室
出席委員	小林甲一委員（委員長）、柴田錦見委員（副委員長）、佐藤喜好委員、原國夫委員、加藤恒文委員、坂崎雄介委員、佐々木千裕委員、今枝寛彦委員、西尾英子委員、竹本幸二委員
欠席委員	堀尾憲慈委員、小口英二委員
事 務 局	仙石総務部長、福田総務課長、石田主査、佐藤主任、堀尾建築住宅課長
傍 聴 人	1 名
報道機関	1 社
会議結果 要旨	
1. 市民委員会コンセプト「1－1 多治見の未来と新庁舎」について、表現が重いため整理する。また、行政サービスの刷新について記載する。 2. 市民委員会コンセプト「3－1 まちの姿や未来を表すシンボル [基本機能④]」について、「まちの玄関」からの広がりを表す表現を追加する。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
2 議事 委員長	委員会もいよいよ 10 回目となり、約 2 年経った。本日議論する市民委員会コンセプトは、委員会としてひとつの節目のタイミングになると思っている。前回おおむね了承いただいたので、順調にいけば本日の議事は早く終了する。最後に一言、これまでの感想、今後の新庁舎建設に向けての取り組みについてご意見を賜ろうと思う。
(1) 各務原市庁舎の視察のまとめ	
委員長	2 月 20 日に各務原市の新庁舎を視察した。残念ながら欠席の方もいたが、現地を見ながら意見交換出来てよかったと思う。視察を振り返ってまとめを行う。
事務局	視察のまとめに入る前に、参考として配布した資料の説明を行う。前回の回議で市役所の組織全体の機構図、各窓口での担当業務が知りたいとの要望があった。機構図と各窓口の担当業務が記載してあるくらしの便利帳を一部抜粋したものを配布した。 (資料 1 について説明)
委員	区長会として、以前にも一度視察に行った。第 1 委員会室について、本庁舎の中で一番景色がよいところだと説明を受けた。しかし、議会の閉会中だったため、机等が乱雑に並んでいた。今回は議会会期が近いということもあり、机等はきれいに並んでいた。議会関係の部屋は、一年の中で使用する回数が少ない。多治見市について、議場が本庁舎から新庁舎に移るので、議会閉会中の使い方について、考えていかなければならないと感じた。
委員長	きれいな会議室で景色も良いが、市民の方は入ることができず、もったいないと感じた。難しいと思うが、多治見市の新庁舎においても、議場をどのように使用していくかということは重要な意味をもっていると思う。

委員	低層階が建設中のため見学できず、どのような機能を持つのか全体像が見えてこなかった。吹抜が2つあったが、スペースがもったいないと思った。最上階だと思うが、地産地消ということで木材をたくさん使用していた。壁に、木材のブロックが凸凹に設置してあり、どのように掃除を行うか尋ねたところ、大変だと伺った。木材を使用することは良いが、メンテナンスの難しい建物は大変だと思う。また、ワークスペースや会議室が多かった。必要であるから設計したのだと思うが、スペースの使い方としてどうかと思った。
委員	市民目線から言うと、来庁者向けの案内看板が、来庁者の目線に合う高さだと思った。多治見市の駅北庁舎は目線より上に案内看板がある。案内看板が来庁者の目線の高さにあるのは良いと思った。議場について、ときどき傍聴に行くが、多治見市の議場は傍聴席が2階のため、執行部の顔しか見えない。各務原市は、議員席の後ろに傍聴席があり、議員の背中側から全体を見ることができる。各務原市の職員の方は、傍聴者と目が合うと言っていたが、その方がいいのではないかと思う。
委員長	ユニバーサルデザインが徹底されており、窓口にナンバーが付きアクセスしやすい形になっていた。サインもおしゃれなデザインで、市民の方にとっては良い建物に仕上がっている。多治見の新庁舎も見習わなければならないと思った。多治見市の駅北庁舎は駅北庁舎をベースに繋がりを持たせることを考えると、制約もあり、各務原市の様にはいかない部分もあると思う。 各務原市役所、土岐市役所、岐阜市役所、岐阜県庁等、公共施設が建替えの時期に来ている。多治見市は駅北庁舎を先に建設している。そろそろ多治見市もしっかりと基本構想、基本計画が具体化されていくべきだと感じた。
(2) 市民委員会コンセプトについて	
委員長	まず、A3の用紙は、市民委員会コンセプトの文章を図に落とし込んだものである。それから、全体の配置図を参考として添付している。 資料2の文章について、基本的に大きな指摘はなかったため、変更していない。しかし、4ページのその他の留意事項について、委員のご指摘から議論を行い、下線部を追記した。読み上げる。「ネットワーク型コンパクトシティ構築の観点からすると、こうして中心拠点が整備されることに合わせ、地域拠点についても機能強化を図る必要があります。そのためには、市庁舎に来ることなくどこにいても行政サービスの提供を受けられることができるよう、ICT技術の活用や地区事務所の有効利用、さらには市職員が地域に出向いてサービスを提供する取組みなども検討すべきと考えます。」。新庁舎が駅北庁舎隣接地に建設された場合、重要な点であるとして加筆した。 以上で、「多治見の未来を形づくる新庁舎 新庁舎基本構想のための市民委員会コンセプト」を今日みなさまにお認めいただければ、近日中に私から古川市長に提出したい。何か意見はあるか。
委員	大変わかりやすくよくできた内容になっている。1ページ目「1-1 多治見の未来と新庁舎」について、少し重い気がする。「まちづくりの未来」という様な同じ内容の言葉が4回出てくる。もう少しすっきりさせたほうが、インパクトがあるのではないか。

	また、２ページ目「２－１行政サービスの新しい中心〔基本機能①〕」について、基本機能の１番でＩＣＴの利活用という記載があるが、「１．基本的な考え方」にこの内容が入っていない。「１－１多治見の未来と新庁舎」に、「この移転を好機ととらえ、高度なデジタルインフラの整備をはかり、業務の効率化もあわせ推進をしていく」とすると良いのではないかと。 ３ページ目「３－１まちの姿や未来を表すシンボル〔基本機能④〕」について、「駅を基点とした「まちの玄関」として」という記載がある。「玄関」はあくまで「玄関」であり、大切なことは「居間」「客間」「ダイニング」である。「玄関」の先を表すような言葉遣い、「まちの玄関としての駅を基点として」という表現にすると、もう少し広がるのではないかとと思う。
委員長	まず、３点目について委員のおっしゃった趣旨で書き換えを行う。 ２点目について、「１－１多治見の未来と新庁舎」は全般的にまちづくりと新庁舎について書かれており、どうしてもそのような表現が多くなるが、新庁舎は行政サービスの中心であることは間違いない。その点について、「１－１」に明記されていない。１点目に指摘があった部分とあわせ、もう少し書き換えをしたい。 他に意見はあるか。
委員	なし。
委員長	それでは、委員から指摘のあった３点について、差し支えなければ委員長にご一任いただいて修正したい。 市民委員会コンセプトについては、修正を行い確認が出来たところで、古川市長に提出し、各委員に配布する。
(３) グループヒアリングの実施について	
委員長	事務局からの説明の前に、趣旨を伝える。市民委員会としては、２年間中間報告までしっかりと議論を行い、議会で新庁舎の位置が決定した後は、それまでの議論の内容を含めあらためて議論を行い、今ここに至っている。ある意味一つ大きな区切りがついていると思う。 承知の通り、市長が交代することは間違いないことであり、新しい市長の下で、新しい体制で新庁舎の問題がスタートする。とはいえ、５、６月すぐに明確な動きというのも難しいと予想され、委員会も少し時間をおき、求めに応じて委員会が進んでいくことになると思う。その若干の時間の余裕を活用し、グループヒアリングを行う。 市民委員会についても各界各層から参加していただいているが、市民委員会としてグループヒアリングを行い、関係人口も含め、高校生、若者、子育て世帯の方々の意見を踏まえていった方が良い。これを、次回の委員会までの３～４カ月で行っていきたいと思っている。
事務局	(資料３について説明)
委員長	実施については、ご理解とご協力をいただければと思う。前回の委員会での議論を踏まえ、事務局と相談し４つのグループを決定した。対象とするグループについてアイデアがあれば、お伺いしたい。

	また、ヒアリングの中身について、資料に記載されている内容は目安とし、実際には担当委員にお任せする。 先ほどの視点について意見はあるか。
委員	グループについて、若者・大学生と高校生は同じではないか。また、高齢者が入っていない。高齢者のグループを作った方が良いのではないか。
委員長	若者・大学生と高校生で分けている理由について、高校生は他市から通っている人も対象にでき、大学生・若者とは少し違うと思っている。 事務局の打ち合わせの中では高齢者、障がい者を対象とする案も出たが、この属性の方々については、今後基本構想や基本計画が進んでいく中で、様々な形でのヒアリングを行った方が良く、今回のグループヒアリングの趣旨には適していないのではないかとと思う。
委員	高校生に、中学生を加えてはどうか。多治見市は子ども会議という取組みもあり、中学生の発言する力も随分ついてきている。希望があれば、中学生も加えてはどうか。
委員長	実際どのような編成になるかはわからないが、高校生・中学生というグループとする。中学生だけのグループとしても面白いかもしれないが、各中学校で生徒会を中心に多治見の未来、新庁舎について提案をしてもらうというようなイベントをしたほうが良いのではないか。委員の趣旨はよく理解したので、高校生・中学生としたい。
委員	市外からの通勤者について、通勤手段や市外の範囲はどこまで含まれているか。
委員長	多治見駅を通勤で利用している方、多治見市民でない方を対象とすることで、より外からみた意見をいただけるのではないかとということで、市町村等にこだわりはない。
委員	市外からの通勤者のグループを作ることに異論はない。車で通勤する方、電車で通勤する方では、市役所に触れる濃度や頻度が違うと思う。多治見駅を利用する方であれば、駅の真横に新庁舎ができることについて、違う考えを持っているかもしれない。どういった通勤経路の方か定め、またはある程度洗い出しをした上で、ヒアリングを行った方がよいと思う。
委員長	駅を利用する市外からの通勤者ということとしたいと思う。
委員	若者・大学生は何歳を想定しているか。また、一番働き盛りの年齢が入っていないが、必要ではないか。
委員長	若者として通常イメージするのは 20 代かと思う。大学生にこだわらず広く 20 代とする。 各世代から意見を集めるということではなく、今回はあくまでも資料に記載のある趣旨で行うものであり、全てを網羅するということではないと理解いただければと思う。
事務局	委員長がおっしゃったように、このグループヒアリングで全ての関係者から満遍なく意見を聞くことは難しい。しかし、今日いただいた指摘、意見については参考にさせていただき、これからフロアマップなど基本計画を作成する段階で、様々な団体や様々な階層の方に、グループヒアリングとは別に、意見をもらう機会を作っていきたい。
委員長	今回グループヒアリングの提案をしたのは、市民委員会コンセプトを作成したところで、こういった意見をしっかり吸い上げていくことが市民委員会として非常に重要だと

	思うからである。市民委員会の役割というか、行政にはやりづらいところを埋めていくようなことがあっても良いと思う。行政は行政として、中学生に新庁舎についてアイデアを聞く機会があっても良いと思う。
委員	市外への通勤者の方を含めると、土曜日日曜日の使い勝手を良くしてほしい等の意見を拾えると思う。
委員長	その話については、行政から働きかけて拾ってもらった方が良いと思う。逆に言うと、行政は、市外在住の方の意見は聞きにくいのではないかな。
委員	駅利用者として、対象範囲を広くしてはどうか。
事務局	働き盛りの世代についてもそうだが、ボリュームゾーンであるので、様々な取り組みの中で意見を拾うことができる。また、グループヒアリングの対象者を集めるのが難しいということもある。市外からの通勤者は、市内の事業者にご協力いただき、従業員の方を紹介していただくことができる。今回は、特定の課題にフォーカスして意見を集めたいという趣旨であるため、市外への通勤者の方等については、別の方法を考えさせていただきたい。
委員長	みなさんのおっしゃりたいこともよく分かるが、そのようにご理解いただければと思う。市民委員会として、このような見方があったのかということ、1つでも2つでもしっかり拾っていくことが重要だと思う。
委員	子育て世代は、乳幼児から保育園児までの親を想定するのか、また小学生中学生の親まで含めるのか。ニーズやアイデアを見つけるという目的からすると、対象者を固めた方が濃いニーズが見つかりやすいかもしれない。固めすぎると、それ以外の声が拾えない。どのように対象者を募るのか。
事務局	P T Aや保健センター経由での依頼を考えている。大きくても中学生の子供を持つ親だが、本来の趣旨としては小さい子供を持つ親から意見を賜りたいと思っている。
委員長	小学生、中学生では大きすぎるのではないかな。保健センター経由で小さい子どもの親を対象とする。
事務局	小学生、中学生を持つ親の方の意見は、グループヒアリングでなくとも、P T A経由で意見をいただけるかもしれない。
委員長	それでは、明確な修正点としては、高校生に中学生を加える。 また、皆さんからいただいた意見を、具体的なグループ編成や人選に活かしていきたい。 今後、新しい市長の下で進んでいく中で、市民委員会が積み上げてきた意見を踏まえながら、来年度どれくらいのスピード感なのか新しい市長の考えもあるだろうし、新年度非常に重要なスタートだと思う。
3 その他	
委員長	先ほど議事を繰り上げて事務局から説明を受けた、参考資料をご覧いただければと思う。 それでは、まだ時間に余裕があるため、冒頭でお伝えした通り、これまでの委員会の感想や今後新庁舎の建設に向けて言い足りなかったこと等、直接は関係なくてもかまわ

	ないので、一人ずつ意見をいただきたいと思う。
委員	P T Aを代表して参加しているが、一番初めに参加した時、女性が少ないと感じた。女性目線の意見が言えれば良いと思い、良い経験をさせていただいたと感じている。 先日の各務原市庁舎の視察では、飛行機のモチーフすごくかわいかった。市役所に愛着を持ってもらうには、あのようなデザインがすごく大事なのではないかな。多治見らしい可愛いモチーフができると良いと思った。
委員	各務原市庁舎について、意外と街中にあり、もう少し広いところにあると良いと思った。 あらためて気が付いたことは、多治見は自然環境、居住環境に恵まれており、コンパクトにまとまっている。まちの中心に川が流れ、国道、鉄道があり、多治見のまちへ出入りするにはトンネルをくぐる必要がある。他には例のない恵まれた環境のまちだと思う。素晴らしい環境をベースとして、新庁舎の建設も含め、まちづくりを進めていけると良いと思う。しかし、岐阜県もそうだが、認知度も低くイメージがわきづらい。多治見もそのようになる恐れがある。多治見は何をアピールしていけば良いかということ、まちづくりとともに考えていけば良いのではないかなと思う。
委員長	戦後、日本の市街地は線と面で拡大してきた。ヨーロッパとの決定的な違いは、点を結んでいるということである。本来、線と面も点を結んで出来ている。多治見のまちは、点を結んで、盆地になっており、春日井と離れ、土岐や瑞浪とも間があるが、ちょうど良いくらいの便利さがある。 まちの中心に新庁舎ができるということは、多治見にとって重要なことであり、新しいまちづくりが進んでいくということだと思っている。
委員	市民公募として参加させていただいている。他の委員会では、男女比率はほぼ半分半分であり、第1回の時に少し思うところがあった。しかし、委員会としては毎回丁寧に議論されており、学びや活動の充実につながった。毎回、納得できる、自分たちの考えを整理できる資料を適切に配布していただいた。 新しい市長、新しい体制でまちづくりが行われていくことが決定している。新しい市長にも要望を出していきたいと思っている。 この委員会は、橋渡しの委員会となると思う。議論をしてきたことが、新体制の中でどのように関わっていくか、ちょうど良い時期に委員会に携わらせていただいたと思う。
委員	途中参加であったため、初めて参加したときは中間報告が終わった段階であり、今更の感もあった。二度三度参加して、少し様子が違うと思った。新しい庁舎ができる、どのような庁舎にするかということ考えたときに、市民目線で発言するということにこだわっていききたい。
委員長	市民委員会として大事なことだと思う。
委員	青年会議所を代表して参加している。団体として市役所との関りがあり、市役所には何度も足を運んだ。市民といっても様々な背景を持った人がおり、簡単なことではない。表に出てくる意見も出てこない意見もあったと思う。コンパクトシティということに関

	して、なるほどと思うし、駅周辺の開発含め、市郊外の環境をどうするかという全体的な視野から市庁舎問題について考える必要があることに気がつけたことは大きいと思っている。 子どもの頃から、まちが随分変わってきている。時間が経てば環境も人も変わっていく。それに合うようにつくり変えていかなければならないことは当然ある。今しっかりと議論できたことは、意味の大きいことだと思う。
委員長	東海地域のJRの駅の中で、おそらく一番品のある駅になったと思う。そこに新庁舎が入っていくということは、それなりに心して建物を造り、機能について考えていく必要があり、それがすごく大事なことだと思う。
委員	商工会議所を代表して参加している。次の世代に何が残せるかということをしっかり考えていくことが大切である。賛成意見ばかりではいいものは出来ない。あえて反対意見も発言してきた。多治見市全体のことを考えて進めていってほしい。 当初の計画では、総工費 52 億円ということだが、昨今の社会情勢の中で建築費が約 1.5 倍になると聞いている。この計画の一番大事な部分であると思うので、どのように考えているのか教えていただきたい。
事務局	市議会でも同様の趣旨の質問を受けた。当初総工費 52 億円と積算したが、これを下げる要素がある。総工費 52 億円は、立体駐車場を建設するという前提で積算しており、駐車場を建設しない場合、総工費は下がる。 しかし、ご指摘のように、建設物価は積算した時よりも約 1.3～1.5 倍になっており、総工費が上がる要素もある。さらに、今後も建設物価が上がる可能性がある。具体的な積算を、どのタイミングでどのようにやり直し公表するかということが非常に難しくなっている。ただ、必要なものを最低限とし、シンプルな新庁舎にすると同時に、多治見らしさや必要な機能は必ず入れていく。今後の基本計画、基本設計の中で工夫していく。
委員	建築費だけではなく、全ての備品等の値段も上がっていく。安く造れということではなく、次の世代の人たちに良いものが出来たと思ってもらえるものを造ってほしいと思う。
委員	多治見商工会議所を代表して参加している。経営の目線で、駐車場についてもいろいろ意見を言ってきた。副委員長という立場だが、肩書を外してもらえると今後意見が言いやすい。 駅北から続いて駅南は、本当に素晴らしくなったと思う。名古屋からの来客もあるが、多治見は本当に良い駅だと皆さん言ってくれる。土岐、瑞浪にも知り合いがいるが、羨ましいと思ってもらえる駅になった。 プラティがグランドオープンするが、7割くらいしかテナントが埋まっていない。ハード面はお金をかければ整備できるが、ソフト面が大切である。賑わいが出来ないとだめだと思う。しかし、コロナの影響で飲食店が疲弊しており、苦戦をしているのが実態である。箱物だけではなく、少しでも賑わいが出来るようになっていけば良いと思っている。 意見を集約し、皆さんが使いやすいと思える市役所を造っていければ良いと思っている。

委員長	なぜ、まちの中心に市役所を造るのかという意見もある。多治見の可能性をうまく融合させる。市役所に用事のある方が、プラティへ寄るといような人の流れを作ることが重要である。今、多治見で困るのは南北の動きである。南北を交流させないと、北と南が結びつかない。その時、市役所が駅の隣に建設されるということは、核となる可能性を秘めている。プラティが苦戦している状況で、新庁舎建設予定地に商業施設を呼んだ場合、手を挙げる事業者がいるかという、今はそういう時代ではない。そこにしっかりと公共空間を持った施設がまちづくりの一つとして機能し、相乗効果を生んでいくことが、これからの多治見のまちづくりの肝となっていく。
委員	区長会から、前会長の後を引き継いで参加している。市内の他の地域も同様だと思うが、自分の居住地域は非常に高齢化が進んでおり、交通機関の確保が難しい状況になっている。そのような状況の中で、市役所まで出向くのが難しい。委員会でも意見があったように、地区事務所などの使い方を考えてもらえると良い。市役所だけでなく、周辺地域の整備も大切だと思う。 新庁舎について、今ここで種を蒔くことによって必ず実現する。様々な課題があると思うが、この委員会で協議していきたい。
委員	各務原市庁舎は、自衛隊の基地が近隣にあるということで、防音対策等、課題にしっかりと対応していた。また、構造は駅北庁舎と同じ免震構造であり、地下駐車場は公用車駐車場となっていた。来庁者駐車場は外の平面駐車場であった。駐車場については、委員会でも議論があったように、将来DX化が進み来庁者が減っていく、技術革新で自動運転が進むと駐車場が必要なくなるかもしれない。様子見として、市としては一番やりやすい方法を考えてきている。 庁舎問題について、職員の業務的には、2か所に分散している建物を1か所にまとめることが大切である。駐車場問題について将来的にも考えていく必要がある。議場の有効活用を行うことで、より市民と連携した議会運営になるのではないかなと思う。そのようなことも検討していければと思う。
委員長	中間報告を設定するというのは、目標がないと議論しづらいだろうということで、私の強い思いがあり、少し無理をしながらも仕上げた。議会も色々な動きがあると思うが、前に進んでいかなければならない。新庁舎の位置を決断されたのは良かったと思っている。その後、新庁舎の基本構想に向けて、私が思っているよりはスピード感をもって進んでいるとは思えない。この後どうなっていくのか、見守っていききたいと思う。 明確な基本構想とするまでは練れていないが、2年間議論したものを、市民委員会コンセプトという形でまとめることが出来た。修正は行うが、本日皆さんに認めていただき、市民委員会コンセプトを市長に提出して一段落すると思っている。 このメンバーで議論を行ってきて、まちづくりに対する思い、多治見のまちがこうあってほしい、市役所として機能しながら有効活用できるような新庁舎であってほしい、新庁舎が多治見のまちを切り開いていく姿を見せる必要がある。ある意味では、行政の立場からは踏み込みにくいような話が委員から出され、まとめられてよかったと思っている。 今後の委員会として、しばらくはグループヒアリングをそれぞれ行っていく。

4 次回以降の日程	
事務局	グループヒアリングの日程について、個別に調整を行う。全体での委員会について、グループヒアリング実施後に調整する。それではこれで本日の会議を終了する。